

IVUSの基礎について講義検討が行われた。まずIVUSの構造、多重反射・NURD・bubbleなどの各種アーティファクト、血管径・石灰化角度の測定方法等についての教授があった。CAGで透亮像を示す場合であっても必ずしも血栓ではなくIVUSを用いると石灰化であることが判明することが示された。冠動脈解離の所見について症例が示された。

Incomplete appositionの経過・予後についての検討が示された。

Sonoda らの Impact of final stent dimensions on long-term results following sirolimus-eluting stent implantation. (J Am Coll Cardiol. 2004; 43(11):1959-63.)

Iakovou らの Increased CK-MB release is a "trade-off" for optimal stent implantation. (J Am Coll Cardiol. 2003; 42(11):1900-5.) などを参考にIVUSガイド下のステントの適切な拡張について、文献的知識(既存の報告)を踏まえた上で現実の症例においてどうなされるべきかディスカッションがなされた。